

項目番号	項目	チェックリスト項目 (補記)	ページ番号
T1	タイトル	論文がコンセンサス形成の報告であることを明示するとともに、使用されたコンセンサス手法をタイトルに記載する。 例えば、デルファイ法やノミナル・グループ・テクニク法など。	
I1	緒言	他のアプローチではなくコンセンサス形成を選択した理由を説明する。	
I2		対象とする読者や地理的範囲（国、地域、世界規模）を含め、コンセンサス形成の目的を明記する。	
I3		コンセンサス形成により既存の文書を更新する場合、更新が必要な理由を明記するとともに、元の文書の引用を提示する。	
M1	方法登録	研究または研究プロトコールがあらかじめ登録されている場合、登録プラットフォームを明記し、リンクを提示する。 登録されていない場合はその旨を記載する。 登録した日付を含めることが推奨される。	
M2	運営委員会および/またはパネリストの選定	コンセンサス形成の主導者の役割と専門分野または経験について説明する。 例えば、議長、共同議長、または運営委員会がプロジェクトを主導したかどうかを述べ、該当する場合は主導者の選定方法を記載する。必要に応じて主導者の氏名を一覧で示し、プロセスの個々のステップについて分科会があったかどうかを述べる。	
M3		パネリストの選定基準とパネリストの数の論拠を説明する。パネリスト選定の責任者を述べる。	
M4		パネリストの募集プロセスを説明する（パネリストにどのように参加を依頼したか）。 コミュニケーション/広告の手段や場所、送付された依頼状の数、依頼が中央で管理されていたかあるいはパネリストが他のパネルメンバーを推薦するよう求められていた/許可されていたかどうかを含む。	
M5		研究の各ステップにおいて、一般市民、患者、または介護者などすべてのメンバーの役割を説明する。	
M6	予備調査	コンセンサス形成中に使用される項目やその他の資料を作成する前に、どのように情報を得たかを説明する。 これには文献レビュー、インタビュー、調査、または別のプロセスが含まれる可能性がある。	
M7		検索戦略と検索した日付、または既に公表されている場合はその引用を含め、系統的文献検索について詳細に説明する。 システマティック・レビュー報告のためのガイドライン PRISMA および関連する PRISMA-Search 拡張版に従って、詳細を提示する。	
M8		既存の科学的エビデンスがどのように要約されたか、このエビデンスがパネリストに提供されたかどうかを説明する。	
M9	コンセンサスの評価	パネリストの意見を収集し、コンセンサスに到達するために用いられた手法と行われたステップを説明する。 (例：デルファイ法、 RAND-UCLA 法、ノミナル・グループ・テクニク法) オリジナルの手法に対し修正を加えた場合、どのように修正したか、およびなぜ修正を必要としたかの理由を詳細に説明する。	

項目番号	項目	チェックリスト項目 (補記)	ページ番号
M10		各質問またはステートメントがどのように提示されたか、回答のオプションがどのようなものであったかを説明する。パネリストが回答について説明することができたか、または説明するように求められたか、新たな項目を提案できたかどうかを述べる。 可能であれば、質問票またはステートメントのリストを補足資料として示す。	
M11		コンセンサス形成の各ステップの目的を述べる。 ステップとしては、コンセンサス会議、討論またはインタビューセッション、あるいはデルファイラウンドがあり得る。	
M12		コンセンサスの定義（例：数、パーセンテージ、または「同意」や「強く同意」などのカテゴリー評価）を述べ、その定義の論拠を説明する。	
M13		事前に規定したコンセンサスの定義を満たした項目が、その後の投票ラウンドに含められたかどうかを述べる。	
M14		各ステップについて、回答の収集方法を説明し、回答の収集が集団であったか、または個別であったかを記載する。	
M15		回答の処理および/または統合の方法を説明する。 自由記述回答の定性的分析（例：主題分析、内容分析、クラスター分析）および/または定量的分析手法を含む（使用された場合）。	
M16		研究資料および/または調査手段のパイロット試験について説明する。 研究資料のパイロット試験を行った人数、参加者選定の根拠、パイロット試験の結果として行われた変更、および回答が最終的なコンセンサスの算出に用いられたかどうかを含む。パイロット試験を実施しなかった場合は、その旨を述べる。	
M17		該当する場合は、コンセンサス形成の各ステップまたは会議の終了時にパネリストにどのようにフィードバックしたかを説明する。 フィードバックが定量的（例：トピック/項目ごとの合意率）および/または定性的（例：意見、または合意された項目のリスト）であったか、匿名化されたかどうかを述べる。	
M18		研究デザインで匿名性が計画されていたかどうかを述べる。適用された場所、対象者、および匿名性を確保するために用いられた方法を説明する。	
M19		コンセンサスパネルによる決定に運営委員会が関与したかどうかを述べる。 例えば、運営委員会やコンセンサス形成の管理者が投票権を持っていたかどうか。	
M20	参加	コンセンサスプロセスにおける回答または参加を促すために使用されたインセンティブについて説明する。 例えば、参加要請が繰り返し行われたか、または参加者が費やした時間に対して支払いが行われたか。	
M21		調査/会議にアクセスしやすくするための対応について説明する。 例えば、調査/会議で使用した言語や、翻訳または平易な言葉による要約が利用可能であったかどうか。	

項目番号	項目	チェックリスト項目 (補記)	ページ番号
R1	結果	コンセンサス形成がいつ行われたかを明記する。コンセンサス形成の各ステップや解析の開始日と完了までの期間、および解析期間の延長や遅延について一覧で示す。	
R2		研究プロトコルからの逸脱について、必要とした理由とともに説明する。 例えば、実施途中のパネリストの追加、コンセンサスステップの数、中止基準について。これらが発生したステップも報告する。	
R3		各ステップについて、参加したパネリストについて説明する定量的（パネリストの数、回答率）および定性的（関連する社会人口統計）データを報告する。	
R4		コンセンサスプロセスの最終的な結果を定性的（例：意見から集約されたテーマ）および/または定量的（例：要約統計量、スコアの平均値、中央値および/または範囲）データとして報告する。	
R5		コンセンサスプロセス中に修正または削除された項目やトピックを一覧で示す。修正または削除が行われた理由と、プロセスのどの時点で行われたかを含める。	
D1	考察	コンセンサス形成の方法論的な強みと限界について議論する。 決定に影響を与えた可能性のある要因（例：回答率、パネルの代表性、実施中のフィードバックが回答にバイアスを与えた可能性、匿名化されていないやりとりの潜在的な影響）を含む。	
D2		推奨事項が既存の文献と一致しているかどうかを議論し、一致していない場合は、今回のプロセスで別の結論に至った理由を提示する。	
O1	その他の情報	支援に関与した組織とその役割を一覧で示す。	
O2		コンセンサス研究の主導者やパネリストの利益相反を含め、潜在的な利益相反を明記する。利益相反がどのように管理されたかを説明する。	
O3		受領した資金および資金提供者の役割を述べる。 例えば、資金提供者の研究構想/デザインへの関与、運営委員会への参加、コンセンサスプロセス実施、メディカルライティングサポートへの資金提供を明記する。これは原稿の方法セクションまたは透明性に関連するセクションで開示され得る。資金提供者がプロセスに関与しなかった場合、または決定に影響を与えなかった場合は、その旨を明記すべきである。	

詳細については <https://www.ismpp.org/accord> を参照